

資料 5

あなたとつくるやさしいまち

porocle



2023年度 事業レポート

認定NPO法人 ポロクル

自転車共同利用サービス(シェアサイクル)事業

2023年度実施概要 (営業期間:4月9日-11月12日の218日間)

■ 自転車

ポロクルの自転車は、安心のブリヂストン製とヤマハ製。すべての自転車に電動アシスト機能が付いています。



	2022年度	2023年度
自転車台数	約480台	約550台
ポート数	53カ所	57カ所

■ マイエリア以外の利用

会員登録した「マイエリア」以外でも、全国各地に広がる共通利用対象エリアでシェアサイクルが利用できます。この相互利用は、2019年から約10倍に増えています。



■ ポート配置



■ 専用アプリ

随時アップデートされているアプリは、2023年度からCO2削減量や消費カロリー、走行距離が確認できるようになりました。「カーボンニュートラル」「健康推進」といったSDGsの取り組みに対応しています。



自転車のルール・マナーや環境負荷低減に関する啓発活動

春の全国交通安全運動・道民の集い

「春の全国交通安全運動」を道民に呼びかけ、地域安全への意識を高める「道民の集い」が開催されました。ポロクルはヘルメット着用促進に向けた啓発や、パトカー・白バイを先頭に安全走行を促す自転車キャラバンパレードに参加しました。



▲ ヘルメットの紹介



▲ 自転車キャラバンパレード

自転車安全利用啓発活動

自転車の安全な通行を促す「矢羽根型路面表示」路線上でのデモ走行や、ヘルメット着用促進を目的とした自転車安全利用に関する街頭啓発活動に参加しました。



▲ ポロクルによるデモ走行



▲ 街頭啓発活動

北海道と連携したヘルメット着用モニター促進事業 (3年目)

札幌方面中央警察署とも連携し、署内に貸出窓口を設置しました。また、前年度のアンケート結果を踏まえ、持ち運びに便利な折りたたみ式ヘルメットも用意して貸出しました。

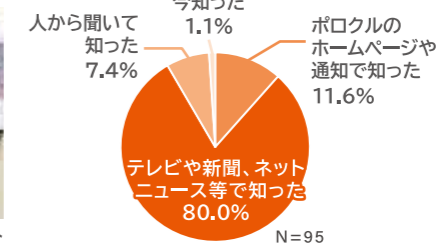


▲ ヘルメット無料貸出の告知

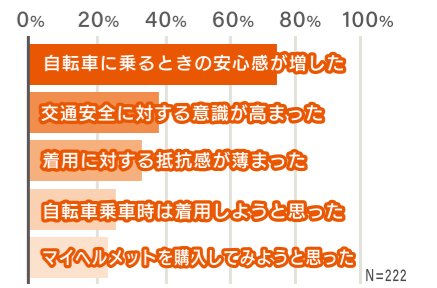


▲ 折りたたみ式ヘルメット

Q. 道路交通法改正により、2023年4月1日からすべての自転車利用者へ乗車用ヘルメット着用努力義務が課せられたことを知っていましたか?



Q. 実際にヘルメットを着用してみたことにより、どのような意識変化がありましたか? (複数選択)



札幌開発建設部との災害協定連携訓練

9月1日「防災の日」に、北海道開発局札幌開発建設部との「災害時における相互協力に関する協定」に基づいた、災害協定連携訓練を実施しました。災害発生時のシェアサイクルの貸与訓練や、道路情報発信訓練、被災状況調査訓練など、相互協力が円滑に実施できるよう確認しました。



▲ 災害対策室の様子



▲ ポロクルでの河川堤防被災状況調査

海と日本PROJECTへの参画 (3年目)

ユーザー参加型のごみ拾いイベントの開催や、コラボTシャツを着用したポロクルによる街の美化活動を実施しました。また、ポートには環境に配慮したごみ袋を設置したり、1台限定「幸せのマリンブルー号」を特別仕様車として製作し取り組みをPRしました。



▲ ごみ拾いに参加したユーザー



▲ ポートにごみ袋を設置

2023年度実績

■ 都市公園内にポートを設置



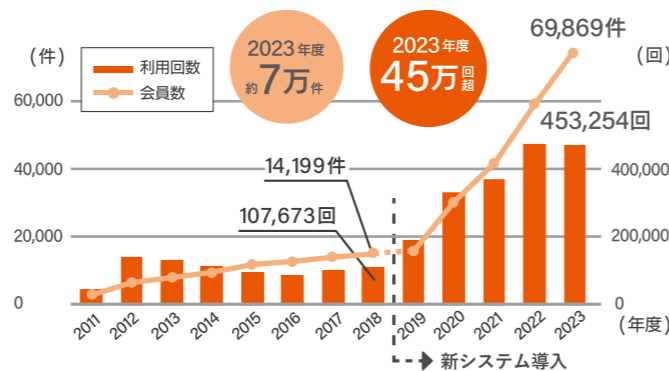
2023年8月、初めて都市公園内(中島公園)にポートを設置しました。※2023年に札幌市自転車活用推進計画が策定され、シェアサイクルの利用促進などが位置づけられました。

■ 車載GPSによる移動軌跡

全車両に搭載しているGPS端末で得られるデータから、札幌中心部だけでなく広域的に利用されていることが把握できました。



■ 会員登録件数(累計)・利用回数(年別)

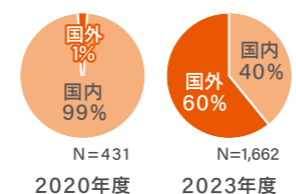


1日平均利用回数	1日最大利用回数	1日平均回転数	1日最大回転数
2,079回	3,076回	4.2回/台	6.3回/台

■ インバウンドの利用

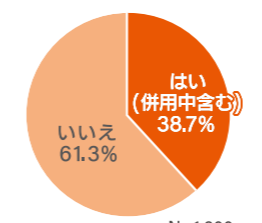
訪日外国人旅行者の利用が、コロナ禍前の水準まで回復しました。

※ホテルや観光案内所の1日バス対面窓口販売のみ集計。

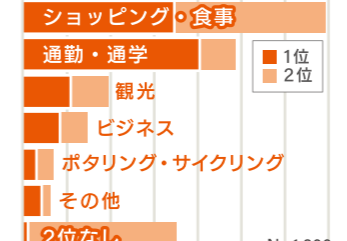


ポロクル2023利用者アンケート

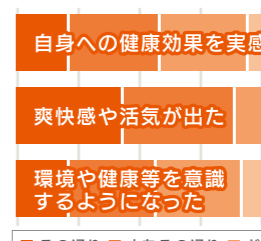
Q. ポロクルを利用するようになったのは、マイ自転車からの転換ですか?



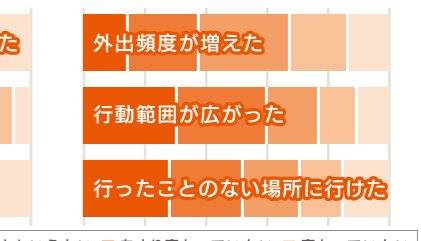
Q. ポロクルを利用する目的の1位と2位は?



Q. 身体的・精神的変化はありましたか?



Q. 行動の変化はありましたか?



その他の附帯事業・主な取組

広告事業



▲ 民族共生象徴空間ウポボイ様



▼ Online セレクトショップ DOこれ様

https://do-colle.com/

北海道の魅力と出会う Online セレクトショップ

▼ 朝日新聞 DIGITAL様

ニュースを読めば 視野が広がる 朝日新聞 DIGITAL

北電総合設計 株式会社様

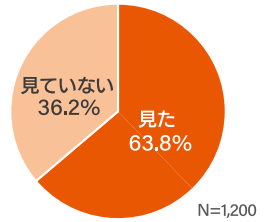
ゼロ・カーボン北海道の 実現に向けて取り組んでいます



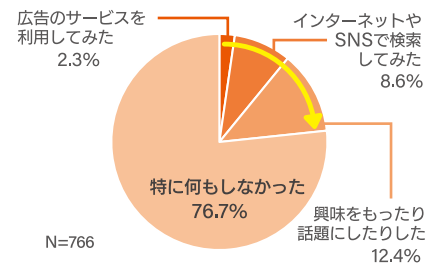
▲ 「海と日本PROJECT」

1台だけの特別仕様車「幸せのマリンブルー号」を製作。SNSでも「見つけた！」と話題になりました。

Q.ポロクルの車体広告を見ただことがありますか？



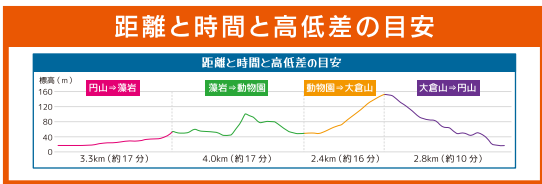
Q. 広告を見た後の行動は？(主なもの1つ)



広告を見たと回答した方のうち約24%の方が何らかのアクションを起こしています

もいわ山・大倉山・円山動物園との1日パスを活用した連携事業

1日パスカードを購入した方へ配布されるクーポン、または1日パスを施設で提示することで様々なサービスを受けられる連携企画を行いました。



◀ 道路状況や高低差、駐輪スペースなどを記載したルートマップ。



ポロクル公式YouTube公開中！

ポロクルのご利用方法や自転車マナー、楽しくまちめぐりするおススメルートなどをYouTube動画で公開しています。おすすめ動画では、普段は見られないポロクルの裏方に密着した映像もご紹介していますので、ぜひご覧ください。



ポロクル公式 Youtube ▼



特定非営利活動法人 ポロクル

※呼称 認定NPO法人ポロクル

2024年5月20日 発行



2024年5月30日

認定NPO法人ポロクル / NPO法人エコ・モビリティ サッポロ

BICYCLE-E・MOBILITY CITY EXPO 2024 にて FCアシスト自転車 を展示します

現在、札幌市は持続可能なまちづくりの一環として、水素エネルギーの利活用の促進に取り組んでいます。水素は国内で製造が可能で、利用時に二酸化炭素(CO2)を排出しないなどの特徴があり、環境負荷の低減や安定的な資源確保に寄与する次世代エネルギーとされています。

このような中、札幌でシェアサイクル「porocle」を運営している認定NPO法人ポロクルと、自転車タクシー「VELO TAXI」を運営しているNPO法人エコ・モビリティ サッポロは、トヨタ自動車北海道株式会社と共同で、**水素を動力源とするFC(燃料電池)アシスト自転車の開発**に取り組んでいます。

今回、札幌市の後援のもと、東京で開催されるイベント『BICYCLE-E・MOBILITY CITY EXPO 2024』において、**FCアシスト自転車「porocle」の試作機**と、**FCアシスト自転車タクシー「ピオニエ(Pionie)」のデザインパース案**を出展することといたしました。会場ではFCアシスト自転車に搭載される水素カートリッジに実際に触れることができます。

ポロクルとエコ・モビリティ サッポロは、これらの取組を通じ、これまで以上に環境に優しい移動手段の提供や、身近な水素の活用・普及促進を後押し、札幌市が目指す水素社会の実現に貢献します。

報道各社におかれましては、取材及び市民への周知にご協力をお願い申し上げます。



イベント概要

BICYCLE-E・MOBILITY CITY EXPO 2024 (<https://bicycle-emobiexpo.co.jp/>)

～自転車-電動モビリティまちづくり博～

■日時■ 2024年6月5日(水)・6日(木) 10:00～17:00

■会場■ 新宿住友ビル三角広場 屋内イベント空間 (東京都新宿区西新宿2丁目6番1号)

JR「新宿」駅 徒歩8分 / 地下鉄丸ノ内線「西新宿」駅 徒歩4分 / 地下鉄都営大江戸線「都庁前」駅 直結

出 展: 特定非営利活動法人ポロクル / 特定非営利活動法人エコ・モビリティ サッポロ

共同出展: 株式会社ドーコン / トヨタ自動車北海道株式会社

後 援: 札幌市

◆お問い合わせ◆

認定NPO法人ポロクル 事務局 (担当:熊谷・都田)

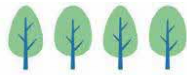
TEL:011-896-5601 (平日9～17時) / メール:prc.support@porocle.jp / ウェブ: <https://porocle.jp/>

NPO法人エコ・モビリティ サッポロ (担当:栗田)

TEL:080-4075-7806 / メール:info@ecomobility-sapporo.jp / ウェブ: <https://ecomobility-sapporo.jp/>

札幌みんなのサイクル

porocle



FCアシスト自転車

シェアサイクル「ポロクル」は、北海道札幌市にて2011年より本格的なサービスの提供を開始し、今年で14年目を迎えました。環境意識の高まりも相まって、都心部の便利な移動手段として多くの市民や観光客の方々に親しまれています。

この度、運営主体の認定NPO法人ポロクルとトヨタ自動車北海道株式会社の共同により、水素による燃料電池を動力源とするFCアシスト自転車を開発しました。

私たちは、水素エネルギーを活用した持続可能なまちづくりを推進している「環境首都・札幌」において、これまで以上に環境にやさしい移動手段の提供、身近な水素の活用・普及促進を後押しし、札幌市が目指す水素社会の実現に貢献します。

FC(燃料電池)モジュール※1

水素検知システム



水素カートリッジ※2

※1 FCモジュール
Fuel Cell(燃料電池)モジュール
水素と空気(酸素)を供給し発電する

※2 水素カートリッジ
水素吸蔵合金を用いた貯蔵方法
低圧でコンパクトに水素を貯められる



出展 特定非営利活動法人ポロクル
特定非営利活動法人エコ・モビリティ サップロ
共同出展 株式会社ドーコン
トヨタ自動車北海道株式会社
後援 札幌市